



正木小だより

令和7年2月28日

まさき

正木小4つのじまん

分散型の授業参観を2月12日に開催したところ、多くの保護者の方にご参観いただきまして、誠にありがとうございました。本校は駐車場がなく、徒歩や自転車にてご来校をお願いしたところ、多くの方々にご協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。

さて、本校の4つのじまんなは、「さきがけ挨拶」「まさき掃除」「美しい環境（靴、スリッパ、教室）」「ボランティア」です。後期の合言葉は、「本物にする」です。

そのうち、2月は掃除にこだわって活動しています。まさき掃除の「ま」は、真心を込めた掃除の「ま」です。子どもたちは、ほうきで床を丁寧に掃いたり、濡れた雑巾で床を磨いたり、一生懸命に、真心を込めて掃除に打ち込んでいます。教室に対する思いは、次の学年に渡す時期が近付いているため、特にきれいにしたいという思いが強いです。雑巾の絞り方、バケツを使って雑巾をきれいにする掃除の仕方、これらは大人になってから、掃除の基礎基本として役立つことでしょう。子どもたちが活躍する2040年前後では、お掃除ロボットがいたるところで動いているかもしれません。自動化や機械化、AIが進んでも、身の回りの掃除や整頓をすることには変わりはありません。美しい環境を保つためには、進んできれいにすることが大切です。

また、「さきがけ挨拶」は、相手よりも先に自分から挨拶をすることを意味しています。民生児童委員、PTA役員、教職員が2月17日～21日の一週間、学校の3つの門に立って、挨拶運動を行いました。子どもたちは元気よく挨拶をしたり、挨拶を返したりしていました。地域と学校と家庭が一体となって、子どもたちを育成する基盤ができていることを改めて実感しました。

学校では、4つのじまんなを本物にすることが後期の合言葉です。本物にするためには、先生が見ていなくても、大人が見ていなくても、自分一人で活動の値打ちに気付いて、行動することが肝心です。本物になるためには、まだまだ道のりは長いですが、子どもたちが将来を生き抜くために必要な力の基盤となる、正木小4つのじまんなを追求し続けたいと考えています。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。

校長 花村伸二